

実施日：10月25日（5～6校時）											
領 域：国語											
取組名：弁論											
対 象：全生徒	実施場所：各教室及び体育館										
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手の立場や考えを想定し、説得力のある話を組み立てる。人に伝える文の内容を考え、感性や情緒を身につけ人の気持ちを思いやる豊かな人間性を形成する。 ・ 受け手の気持ちを考えずに発言をしていないか考えさせ、思いやりの心を持って聞いたり、話をしたりする力を育てる。 											
<p>イ 指導内容(指導略案)や取組の概要</p> <p>中学校では「話すこと・聞くこと」「書くこと」の授業として学級弁論大会を行う。弁論大会は、自分の体験を通して、考えたことや気付いたことを原稿にし、聞いている人たちに説得力をもって訴えていくことを目的としている。1、2年生の間は学級弁論大会を、3年生になると、学年から代表の2名を選出し、たんば田園交響ホールで行われる篠山市中・特別支援学校 音楽・弁論大会に学校代表で参加する。</p> <p>[題材の選び方]</p> <p>○家庭生活や学校生活など、日々の生活の中で気づいたこと。 ○テレビ、新聞、本などを通じて感じたこと。 ○家族、友だち、周りの人々のことについて。○郷土のために取り組みたいこと。 ○社会の一員として考えること。 ○身近な出来事や自分が体験したこと。</p> <p>[原稿を書くときの注意点]</p> <p>①内容 ☆自分の体験からの主張であること。 ②枚数 ☆四百字詰め原稿用紙 4枚程度。 ☆言いたいことがよくわかること。 ☆制限時間…5分以上、6分以内。 ☆論題(題名)と内容が一致していること。</p> <p>[審査のポイント]</p> <table border="0"> <tr> <td>[論旨]</td> <td>[表現]</td> </tr> <tr> <td>・ 自分の体験からの主張であるか。</td> <td>・ 言葉がはっきりしているか。</td> </tr> <tr> <td>・ 言いたいことがよくわかるか。</td> <td>・ 内容が自分のものになっているか。</td> </tr> <tr> <td>・ 感動を呼ぶ内容であるか。</td> <td>・ 大きな声であるか。</td> </tr> <tr> <td>・ 論題と内容が一致しているか。</td> <td>・ 聴衆にアピールしているか。</td> </tr> </table>		[論旨]	[表現]	・ 自分の体験からの主張であるか。	・ 言葉がはっきりしているか。	・ 言いたいことがよくわかるか。	・ 内容が自分のものになっているか。	・ 感動を呼ぶ内容であるか。	・ 大きな声であるか。	・ 論題と内容が一致しているか。	・ 聴衆にアピールしているか。
[論旨]	[表現]										
・ 自分の体験からの主張であるか。	・ 言葉がはっきりしているか。										
・ 言いたいことがよくわかるか。	・ 内容が自分のものになっているか。										
・ 感動を呼ぶ内容であるか。	・ 大きな声であるか。										
・ 論題と内容が一致しているか。	・ 聴衆にアピールしているか。										
ウ 連携先：保護者、地域、小学校、篠山市中・特別支援学校 音楽・弁論大会											
<p>エ 連携にむけての取組</p> <p>校内での代表者2名[別紙①][別紙②]の主張を文化祭で保護者や地域の方々に発表する。また、篠山市中・特別支援学校 音楽・弁論大会への参加で、市内の代表者の主張を聞いたり、発表したりした。</p>											
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <p>2～3文字言葉でつながる人間関係に慣れている生徒の実態が顕著になり始め、改めて弁論を全生徒に考えさせ発表させている。学級弁論から文化祭、さらに篠山市弁論大会で発表するように市内中学校全体で連携している。保護者、教育委員会、地域の方々にも参加いただき主張を聞いてもらった。</p>											
<p>カ 評価の方法</p> <p>学級弁論で生徒間で友達との弁論の感想を記録させ、担任、副担任も弁論の内容や話す力を評価していった。</p>											
<p>キ 成果</p> <p>題材の選び方、内容などについて指導を加えることで一人一人の考えを深めさせることができた。人に伝えるために自分の考えをまとめ、何を伝えたいのかを順序立てて作文することで、奥深く考えることが大切だということに気づくことができた。また、友達や家族への思いやりが言葉に表れることを感じることもできた。</p>											
<p>ク 課題</p> <p>弁論の内容が感想的な薄いものになっており、人とふれあう体験が少なくなっている実態が伺える。ネットでの会話の方が慣れており、人を大切に思うことを深く考える前に心が折れて、困難な壁に立ち向かうことから逃げる生徒が増える中で、励まし、認めていくことで自信をつけさせていきたい。</p>											

